８～９月度「京都学ラウンジ ミニ講座」（開催報告）

平成 30 年９月 20 日
京 都 学 ・ 歴 彩 館
０７５－７２３－４８３５

京都学・歴彩館では、京都について学ぶ楽しみを広げる目的で、毎週木曜日に「京都学ラウンジ　ミニ講座」を開催しております。この度、８月 23 日（木）～９月 20 日（木）にかけて５回開催しましたので、下記のとおり報告します。

記

■ 日　　時　　平成 30 年８月 23 日（木）、８月 30 日（木）、９月６日（木）
９月 13 日（木）、９月 20 日（木）　いずれも 13：30～14：20

■ 会　　場　　京都府立京都学・歴彩館 京都学ラウンジ

■ 参加者数　　①14 名（８月 23 日）、②56 名（８月 30 日）、③28 名（９月６日）
④34 名（９月 13 日）、⑤26 名（９月 20 日）　　合計 158 名

■ 内　　容

①「京都に「阿波おどり」があった！？～歴彩館の史資料に見る京都の近代史～」　講師：松村啓一（京都府立大学）
②「室町時代の京都と地方」　講師：川口成人（京都府立大学）
③「海とともに生きた江戸時代の人々～丹後沿岸地域に着目して～」　講師：稲穂将士（京都府立大学）
④「明治初期の産業道路～銀の馬車道の調査～」　講師：菱田哲郎（京都府立大学）
⑤「『さっさよやっさ』を探して～近代と戦後、宮津の茶屋町～」　講師：松田法子（京都府立大学）

■ 講座の様子

８月～９月にかけては、京都府立大学の協力を得て、特別ミニ講座を開催した。幅広い分野の講師を迎えることができ、近代京都の民衆の高揚や中世京都と地方の関係、日本遺産としても注目される近代の産業道路、海や茶屋町に着目した丹後の近世・近代史など、様々なテーマの講演を得た。いずれも教員や院生、修了生の最新の研究成果に基づくとともに、当館所蔵の史資料を活用したものであり、府立大学との共催企画として有意義なものとなった。天候に恵まれない日も多かったが、常連の客層以外にも、個々のテーマに関心を有する多くの参加者を得ることができた。

第１回

第３回

第４回

第５回